

(様式3)
【学校用】

令和6年度 ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立佐世小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	総合的な学習の時間	米プロジェクト	米作りの工夫を学ぶ(地域の米作り農家、JA農業普及員) より縄作り(錦織琢朗、岡田伸、川島朝子) 収穫した米を使って味噌づくりをする。(じねんにみそ:田中恭子)
ねらい	学校近くの田んぼで田植えや稲刈り等の体験をとおして、お米作りをする方の工夫や苦勞を学んだり、地域の方の温かさに触れたりすることで、佐世地域への愛着を高める。		
<p>1 取組の概要</p> <p>(1)小学校近くの稲作農家で稲の種まきの様子を見学する。 (2)稲作農家の方やJAの方に指導してもらいながら田植え体験を行う。 (3)地域の方に教えてもらいながらよりない体験を行う。 (4)稲作農家の方やJAの方に指導してもらいながら稲刈り体験を行う。 (5)稲作体験で学習したことを、学習発表会で発表する。 (6)収穫祭(おにぎり、みそ汁づくり、調べて分かったことを発表する。)を行う。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○地域の方と触れ合いながら田植えやよりない、稲刈り等の体験をすることで、地域の方の温かさや佐世地域のよさに気づき、大切にしていこうとする態度を養う。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○米作りについての体験をとおして学んだことやこれからの米作りについて考えたこと、米作りの歴史について調べたことをグループごとにパワーポイントにまとめる活動をとおして必要な情報を集めたり選んだりし、まとめる力を高める。 ○調べたことを劇にして発表することで、相手意識をもって話したり表現方法を工夫したりする等表現力の向上をめざす。</p> <p>3 児童に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○佐世地域での米作りに関わっておられる農家の方やJAの方の米作りへの思いを学ぶことで、ふるさとへの愛着が高まった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○グループで調べたことを分かりやすく表そうと工夫する姿が見られた。 ○劇で発表する活動を通して、聞く人に向けて分かりやすく伝えるようにしようとする意識を高めることができた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○米作りについて地域での体験学習と社会科の学習をどのように結び付けて、学習を深めていくかが課題である。また、この学習を基盤の一つとして、児童が主体的に学習に取り組んだり地域に関わったりすることができるようにしていく必要がある。</p>			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)